

## 第7回 福山市路上喫煙防止対策協議会 意見概要

### 1. 日時等

日時：2025年（令和7年）1月24日（金）13:30～15:10  
場所：福山市役所本庁舎3階 小会議室

### 2. 出席者

委員：渡邊一成 会長、杉原成美 副会長、小林真理子 委員、眞谷愛菜 委員、田中知徳 委員  
中川勉 委員、藤井伸哉 委員、三谷繭子 委員、山岡英樹 委員

（9名）

事務局：廃棄物対策課長、環境総務課啓発推進担当課長、健康推進課保険企画技術担当課長

### 3. 欠席者

有本靖朗 委員、三上貴久美 委員、宮田明 委員

### 4. 要旨

- 会議は、公開で行われた。
- 委員12名中9名の出席があった。
- 大濱憲司 委員に代わり、山岡秀樹 委員の就任を報告した。

### 5. 第6回福山市路上喫煙防止対策協議会の協議事項の確認

【資料2ページ】

### 6. 報告事項

これまでの路上喫煙防止対策及び環境美化に関する取組について

#### (1) 条例の周知・啓発活動について 【資料3、4ページ】

- ・福山 Clean up 賞の表彰制度はすごくいい取り組みと思うが、表彰する対象者をどうやって見つけているのか。
  - 駅周辺で清掃しているという情報を基に、職員がその時間帯、場所へ出向き、実際にその方とお会いして聞き取りをする中で表彰基準を満たした場合、清掃イベントの中で表彰している。
- ・福山 Clean up 賞は、市民に対してどのようなPRをしているのか。
  - 現在はPRしていない。今後は、ふくやま環境賞という環境部内の表彰制度の中に組み込んで表彰できるように検討している。
- ・人知れず清掃をやっている人や一生懸命頑張っている人はもっといると思うので、もう少し公平公正な選定方法を検討してほしい。

(2) 条例周知用看板等設置について

【資料5ページ】

- ・ 前回の協議会で、条例周知用看板、路面標示が2号線より南が増えていない、設置偏りがあるように感じるという意見に対してはどのように対応したのか。
  - ウォーカーブルエリア南側でも、路面標示の設置等を検討したが、一部は路面が改装されており、イメージの観点から路面表示は不要というような意見が出た。そのため、ウォーカーブルエリア南側は路面標示という方法ではなく、小型の掲示板を貼るという方法をとった。
- ・ 資料5ページの地図以外にも掲示物があるのか。
  - 屋外は基本的に地図のとおりである。資料には掲載していないが、商店街の店舗や飲食店に、「どこで吸うとん？」等のユニークな文言が記載してあるポスターを配布しており、店舗内で啓発をしていく方法もとっている。
- ・ これから国際的な世界会議が開催される時に、看板や路面標示が日本語と英語表記のみとなっていては多くの外国の方々への周知ができない。PRは非常に重要なので、多言語表記の掲示物が必要ではないかと思う。
  - 5月に開催される世界バラ会議に向けては、景観を重視し、開催直前に一旦掲示物は取り外すことも検討している。まずは、世界バラ会議までを1つのゴールとして、路上喫煙やたばこのポイ捨てが減少している、ルール化されている状態とすることを考えている。引き続き、パトロールを強化する等で対応していきたい。また、福山駅周辺には様々な店舗が出店されており、外国人の利用も増えている。それぞれの国でルールやマナーの違いもあるが、環境美化については、パトロールの中で啓発していきたいと考えている。
- ・ 福山市民である私たち一人ひとりが、「こういう市を構築したいんだ。」ということをしっかりPRしてこそ意味があると思う。これから、インバウンドで外国の方々为主要都市だけでなく、地方都市にも来る。福山市も鞆の浦周辺に、しっかり外国の方々に来てもらおうと取組を進めている時に、外国の方々に福山市の環境について、協力も含めてPRしておくことは非常に重要であると思う。是非、多言語表記は考えていただきたい。
  - 福山駅の中に観光案内所があり、現在は多言語対応できるような職員を配置している。喫煙所に関して、総合案内所に問い合わせがたくさんあるということで、福山市のホームページで喫煙所の場所を確認できるようになっている。例えば、ホームページ内で多言語対応できるような工夫であるとかは可能だと思うので、その辺は福山市のホームページや総合案内所の中で整理することは可能だと思っている。また、各国の言葉を全て表記するよりは、ピクトグラムのような工夫は今後も考えられると思う。
- ・ ウォーカーブルエリア内には多くの外国人の方が居住し、働いている。外国人もルールを理解できないと路上喫煙は減っていかないとと思う。特に、高架下や自転車置き場では、たばこの吸い殻を多く見かける。外国人の方が、その場で見て理解できることができればいいと思う。

もう1点、世界バラ会議という直近のゴールに向けてと、その先もどのように対策していくかも議論をしていくべきだと考える。掲示物はいずれ撤去する方向であれば、一時的な取組にしかならないのではないかと思う。

(3) 喫煙所の整備について

【資料6、7ページ】

- ・喫煙所に、受動喫煙と禁煙外来の利用についてのポスターを貼ることは良いことだ。それに付随して、この福山市で取組んでいるイエローグリーンリボン運動についても、しっかり周知をお願いしたい。
  - ・喫煙所はいずれ撤去を考えているのであれば、撤去に向けての方向性が現段階で示されていないといけないと思うがどうか。
    - 福山駅前の再開発の動きとともに、喫煙所の在り方について同時並行で議論していくことを考えている。
  - ・禁煙を勧めるのであれば、福山駅前の再開発を待たずとも、喫煙所を撤去してもいいと思う。再開発が進んだ時に、今回と同じように、どこかで喫煙所を作ろうという発想に繋がると思っている。
    - まずは、各喫煙所の利用状況であるが、地下にある喫煙所は防犯カメラでカウントができる。最近の傾向は、昨年11月の1ヶ月間で、地下にある喫煙所は13,000人程度が利用している。その他の喫煙所は屋外にあり防犯カメラ等ないので、たばこの吸い殻をモデルにして1ヶ月間の利用者推計を出したところ、釣り人喫煙所が1ヶ月当たり7,000人から9,000人、福山駅前広場の喫煙所は、6,000人から7,500人、福山駅北口広場の喫煙所が1,500人から3,000人、三之丸の喫煙所が750人から1,500人ぐらいであるなど多くの方が利用している。
- 喫煙所があってもルールを守らない人がまだ存在する現状で、もし喫煙する場所がなかった場合を想像すると、小さな路地裏や高架下などで隠れて吸う人が増える恐れがある。結局は人目につかないところを探して、どこかで吸うという状況である。モラルが無いような状況は、福山駅周辺まだまだ多くある。今のところは、多くの方々がこの喫煙所を使って一応マナーは守ろうとしてるため、もう少しお時間をいただきたいところである。
- ・喫煙所があって当たり前という感覚になってはならないと思う。例えば福山市の喫煙率がどのぐらい低下をするかというところを指標に、喫煙所を段階的に撤去する等、今後また検討していただきたい。
  - ・喫煙所の在り方は、事務局が説明した福山駅周辺の整備に合わせても、1つのきっかけだと思う。その前の世界バラ会議もあるので、行政の取り組みだけでは当然難しいと思う。今日出席いただいている福山市商店街振興組合連合会や福山市自治会連合会の方、地域も巻き込んで一緒に取組んでいかないといけない。福山駅は賑わいがかなり戻ってきているため、安心して楽しく過ごしていただくためには、やはり今は喫煙所がいるんだろうと思っている。
  - ・駅員が巡回する際に、路上喫煙者に対して、「ここ路上喫煙が禁止なんですよ。実は喫煙場所があそこにあるんですよ。」という回答と、「ここ路上喫煙禁止なんですよ。」だけで終わるのでは、路上喫煙者の反応が全く違う。喫煙所の場所を示すと「そうでしたか、すいませんでした。」と素直に聞き入れてくれる。駅員としても、喫煙所があることで路上喫煙者にも声をかけやすくなった。今後は、もっとまちぐるみで路上でたばこを吸いにくいような雰囲気をつくり上げていくことも必要であると思う。

(4) ポイ捨て状況について

【資料8ページ】

- ・ 8ページの棒グラフの上に評価があって、エリア毎の%がこの%を足すと100%になる。だから2023年度と2024年度を比較して、エリア1のポイ捨て割合は減っていて、エリア2のポイ捨ては割合的には増えている。本数が増えてる減ってるんじゃないかと、ポイ捨てされているエリアの割合が増えてる減ってるって何か。  
→そうである。

(5) 路上喫煙防止対策について 【資料9ページ】

- ・ 指導だけでは、路上喫煙者は言うことを聞かないじゃないかと思う。  
大阪市が1月27日から1,000円の過料を取るようになったが、福山市は過料を考えていないのか。  
→福山環境美化条例では、2万円以下の過料を徴収できる罰則規定を設けている。  
実際に、過料を徴収している他市町へ行ったり、照会により集計結果等を共有してもらっているが、1,000円、2,000円の過料を取って効果が上がっていると答えた自治体はゼロである。実際に過料を支払わない人がたくさんいて、時には嘘の名前や住所を伝えるケースもあるという。時効が5年であり、5年間ずっと督促状を送り続けるが届かない、過料を払わない。そのため、郵便料も無駄になる、事務も煩雑になる。過料を10万円集めようと思うと、1,000万円の費用がかかる。下関市は、そういう状況があるので過料を取ることをやめたと聞いている。費用対効果の部分で、果たして過料を取ることが適切なのかは、慎重な議論が必要。
- ・ 福山環境美化条例を改正する時から、協議会に参加していた。その際にも、一応は過料についての条文を入れようとはなったが、実際過料を取るとなると余程の場合であると当時も話した。過料ではなく、違う方向性を色々考えていく必要があると思う。巡回業務も非常にいい内容であると思う。特に水・金・土曜日の夜に巡回していることがいいところをついてると思っている。そういう絞り込みをして重点的に対策を行う方が効率的であると思う。巡回で路上喫煙が多い場所等を教えてほしい。  
→夜の飲食店前や福山駅北口スクエアがひどい。特にお酒が入ると喫煙が増える印象である。  
8月は夏祭り、10月はハロウィン、12月は忘年会で未成年から高齢者まで、色々な年代層の方が路上喫煙やポイ捨てをしている。福山駅北口スクエアでは、机やベンチが設置してあり、福山城のライトアップも深夜0時ぐらいまでしているため明るく、周辺にファストフード店やコンビニもあり、酒やつまみが揃う好条件。そこで深夜まで屯をして路上喫煙やごみのポイ捨てをしている。巡回業務を22時までに行い、注意するようにはしているが、深夜への対応は行政や警備会社も難しい。
- ・ お酒を飲む場合、だいたい20時、21時が路上喫煙のピークではないかと思う。たばこを吸う時間帯や場所は限定されると思うので、効率的に啓発すること等を検討してほしい。

7. 協議事項

- 資料に記載のある6項目の取組は是非とも進めていただきたい。それに加えて、世界バラ会議実施後のその先はどうするのかを一度、この協議会で議論をしてもよいと思う。対症療法ではなく、根本的な解決策を行政だけではなく、皆で考えることが必要であると思う。
- 世界バラ会議の時だけ、一時的に喫煙所を増やすことで、日本はある程度たばこが許されていると外国の方が誤解されるのではと心配している。  
世界バラ会議を契機に、行政や商店街、市民が一体となったポイ捨て禁止キャンペーン等をしてほしいと思う。
- 福山市全体でまちをきれいにしていこうともっとPRしてほしいと思う。国規模でヴィーガンを推している国もあるが、そのように、福山市も今までしてこなかったことに挑むべきだと思う。「福山市はこういうまちです。」とPRしてほしいと思う。
- 行政にも、色々な対策を講じる中で、情報が蓄積されてきていると思う。行政だけで背負わずに、皆を巻き込んで考えていく時だと思う。次回の協議会では、そのような議論ができればいいと思っている。
- ローズマインドを掲げ、路上喫煙や受動喫煙を考えていこうと市民にPRしていけば、福山らしい、ばらのまちらしいPRに繋がると思う。